

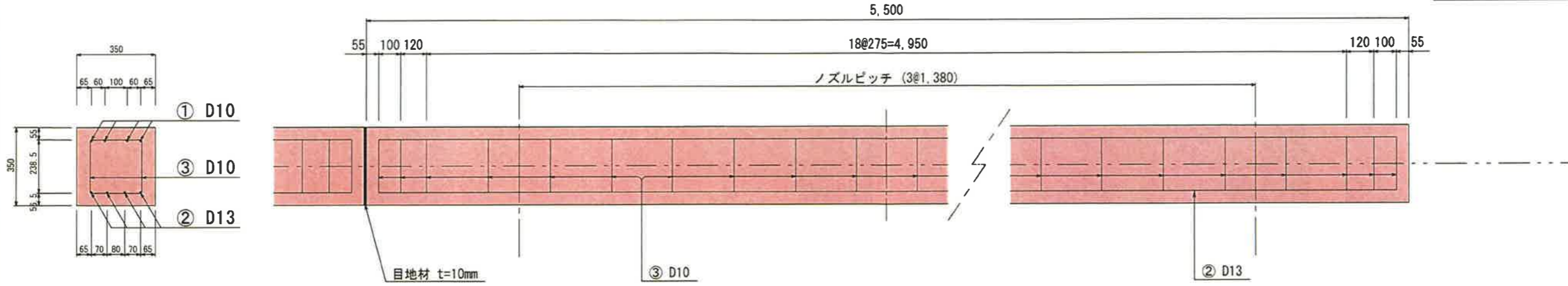
# 車道部消雪パイプ基礎構造図

(配管径 150A以下)

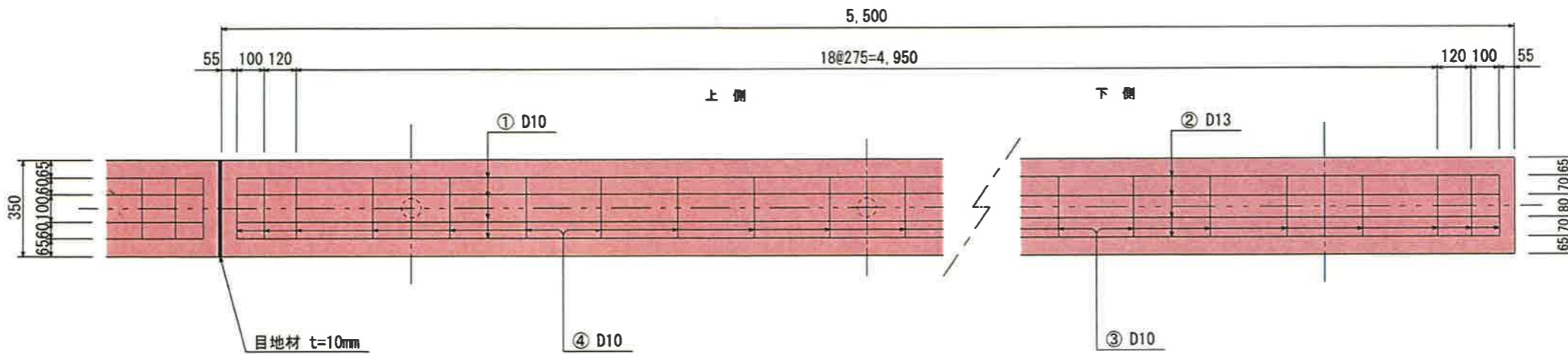
側面図

現場打設コンクリート

項目	設計値
設計軸荷重	50 kN
コンクリート設計基準強度	30 N/mm <sup>2</sup>

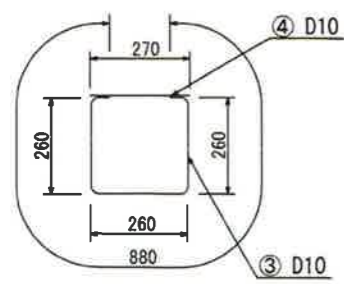


平面図



(注)地盤反力係数  $2 \times 10^4$  kN/m<sup>2</sup>以上  
地盤に適用する(よく締め固められた砂混じり砂利)  
なお、その値を下回ると推定される場合には別途考慮するものとする。

組立筋加工図



鉄筋表

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要
1	D10	4	5,390	0.560	12.074	
2	D13	4	5,390	0.995	21.452	
3	D10	23	880	0.560	11.334	
4	D10	23	270	0.560	3.478	
				D13以下 = 48.338kg		
※55.0m当り				D13以下 = 483.380kg		

(注) 鉄筋はSD295Aの使用を基本とする。

コンクリート等数量表

	50	65	75	100	125	150	摘要
全体断面積	① 0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	$0.35 \times 0.35 \text{ m}^2$
パイプ断面積	② 0.0028	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi d^2 / 4 \text{ m}^2$
実断面積	③ 0.1202	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	$① - ② \text{ m}^2$
コンクリート体積	④ 0.661	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	$③ \times 5.50 \text{ m}^3$
※ 55.0m 当り	6.61	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	$D \times 10 \text{ m}^3$
※ 目地材	10箇所 (55.0m/5.50m) $\times 0.123 \text{ m}^2 = 1.23 \text{ m}^2$						t = 10mm
※ 路盤紙	$0.35 \times 55.0 \text{ m} = 19.25 \text{ m}^2$						

(注) 1. パイプはVPとしての数量を示す。  
2. 基礎クラッシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。  
3. ※印 55.0m 当りの数量を示す。  
4. 配管に樹脂管を用いる場合、目地は管継手と合致させ、管の膨張を吸収させるようにする。

年度	工事番号	号
湯沢町	湯沢町	湯沢町
道路改良 工事		
消雪パイプ基礎構造図		
縮尺	図面全	頁の 1
測量	年月日	主任技術者
設計	年月日	主任技術者
湯沢町役場		